

|     |   |    |         |     |           |    |    |    |    |       |
|-----|---|----|---------|-----|-----------|----|----|----|----|-------|
| No. | 9 | 分類 | 3-(2)-ア | 資料名 | 私が私であるために | 学年 | 3年 | 領域 | 道徳 | 2-(5) |
|-----|---|----|---------|-----|-----------|----|----|----|----|-------|

## 1 ねらい

- 外国人の苦労や悩みを理解し、お互いの文化や習慣、言語等の違いを認め合い、お互いのアイデンティティを尊重しながら、豊かに共生しようとする意欲や態度を身につける。

## 2 趣旨

- 在日韓国・朝鮮人が、本名を名乗らずに生活をしていることやその背景を知らない生徒も多い。また、歴史的な事実の認識不足等から偏見や差別的な事象も起っている。
- 本資料は、「自分が何者であるのか。」ということについて悩みながら生活してきた「私」が、自国やその文化に誇りをもち、自信をもって生きてきた朴愛香さんの姿に励まされ、変化していく姿を描いている。またそこには、支える仲間の存在があったことにも気づかせたい。
- 外国人のアイデンティティを大切にしながら、外国人にとって住みやすい国になることは、日本人にとっても暮らしやすい国になるということを認識させたい。

## 3 配慮事項

- クラスに在日韓国・朝鮮人の生徒がいる場合、本人と保護者への連携と理解が必要である。
- 本名を名乗らないことを否定してしまわないように留意する。
- 日本と朝鮮との歴史的な関係については様々な説があるので、偏った解釈による指導とならないように留意する。

## 4 展開例

| 学 習 内 容                                                                                                                                                                                         | 指 導 上 の 留 意 点                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 「私」が本名を名乗ることを迷っていることについて考える。</p> <p>なぜ「私」は、本名を名乗れなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ からかわれるかもしれないと思った。</li> <li>・ 差別を受けるかもしれないと不安があった。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在日韓国・朝鮮人の歴史について理解させることで、私の不安な気持ちを理解させたい。</li> </ul>                                   |
| <p>2 愛香さんが自己紹介した時の「私」の気持ちを考える。</p> <p>「私」は、愛香さんが本名で自己紹介した時、なぜびっくりしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛香さんが、堂々としていた。</li> <li>・ 自分が韓国・朝鮮人であることを隠さなかった。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛香さんの堂々とした姿を見ながら、自分自身をみつめている私の気持ちを想像させる。</li> </ul>                                   |
| <p>3 本名を打ち明けた時の「私」の気持ちを考える。</p> <p>「私」は、なぜ「私は私になったよ。」と感じたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありのままの自分が出せた気がした。</li> <li>・ 韓国・朝鮮人であることを友だちが受け入れてくれた。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私が本名を名乗ろうとするまでの心の葛藤に共感させる。</li> <li>・ 私のことを、ありのままに受け入れている友だちの存在の大きさに気づかせる。</li> </ul> |
| <p>4 文化発表会の出し物を提案した時の「私」の気持ちを考える。</p> <p>「私」と愛香さんは、なぜ文化発表会で民族舞踊を提案したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 韓国・朝鮮のことをもっと知ってもらいたい。</li> <li>・ 韓国・朝鮮人であることに、誇りをもてるようになった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの言葉や文化を尊重することは、アイデンティティの確立にとって重要であることを認識させる。</li> </ul>                           |
| <p>5 外国人や外国とつながる人たちと豊かに共生するために大切にしなければならないことを考える。</p>                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「違い」を認め合うことが、互いの生活を豊かにしていくことに気づかせたい。</li> </ul>                                       |

## 5 参考

- 活用の手引き P 22 を参考とすることができる。